

交通計画課長



副課長



鉄道事業室長



室員



復命書

令和6年6月25日

千葉県知事 熊谷俊人 様

所 属 総合企画部交通計画課  
職氏名 主事 山下 真毅



私は、命により旅行したところ、その概要は下記のとおりでした。  
以上復命します。

記

- 1 用 務 北総鉄道株式会社第52期定時株主総会
- 2 旅行先 北総鉄道株式会社 本社1階会議室
- 3 旅行期間 令和6年6月20日(木)
- 4 概 要 決議事項3点について、異議無く承認された。  
詳細は別添のとおり。

## 1 総会成立の報告

- ・定款の定めにより、持永社長が議長を務める。
- ・有効議決権数は必要数に達しており、総会が定足数を満たす旨の報告。

○出席株主数：15名（委任状提出者も含む）

＜株主総数 15名＞

○有効議決株式数：49,800千株

＜発行済株式総数 49,800千株＞

## 2 監査報告

小山常勤監査役による監査報告。監査の結果、指摘する事項はなし。また、独立監査人によると、全ての重要な点において適正に表示していると報告を受けている。その監査の方法及び結果は相当であり、指摘すべき事項はない。

本日の株主総会に提出している議案及び書類については、いずれも法令及び定款に適合しており、指摘すべき事項はない。

## 3 事業報告

持永社長より、第52期（2023年4月1日～2024年3月31日）の事業報告、貸借対照表及び損益計算書等について説明。

## 4 質疑応答等

### 白井市・笠井市長

これまでの長年の懸案であった運賃問題については、貴社の英断により、一昨年10月に運賃値下げが実施され、特に、通学定期の大幅値下げにより、子育て世帯の家計負担が大きく軽減されたことについて、貴社に対し、市民からの感謝の声を多く聞いている。さらに、昨年10月のダイヤ改正では、一部の普通列車の矢切駅までの行先の延長により、沿線住民の交通利便性の向上が図られた。これもひとえに、持永社長をはじめ、室谷会長など歴代の経営陣・社員の皆様のご尽力や、親会社の京成電鉄のご理解によるものであり、感謝している。

当期の株主総会にあたり、事業報告では、継続的な新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に加え、貴社が2022年10月に英断された運賃値下げが、北総線の利用者増につながっていること、また前期において繰越損失が解消し、利益の余剰金がプラス計上され、当期においても利益剰余金が積み増されていることについて大変うれしく思っている。一方、営業利益に目をとおすと、運賃値下げや千葉ニュータウン鉄道との線路使用料契約の見直しなどの要因により、営業収益が前期から減収となっているなかで、安全な運行を確保しつつ、営業経費の見直しを行った結果、収益の減少幅を超える営業費用の減となり、総じて増益となったことは、貴社の皆様のご尽力の

賜物であり、深く感謝申し上げます。

これらの好材料の一方で、減少しているものの、いまだに多額の有利子負債があることから、今後の乗降客数の増加に向けて、沿線地域の活性化によるにぎわいづくりが重要であると考えている。本年4月に、本市も実行委員会として参加した「ほくそう春まつり 2024」が開催され、汗ばむ陽気の中で、約2万7千人の来場者があり大盛況であった。

また令和4年10月の運賃値下げを契機とした沿線活性化トレインも、来月から運行開始の事業で3回目の実施となり、本市を含め沿線の魅力発信について共に推進いただき感謝申し上げます。貴社が地域活性化等の様々な取組に全社一丸となって取り組んでいるのと同じように、私も白井市をもっと豊かに、魅力あふれる白井市を次世代に残したいという思いを胸に、オール白井で取組を進めたいと思っている。今後も地域の活性化に向けて様々な取組を共同で取り組むことで、貴社の成長戦略ビジョンに基づく施策と沿線地域の活性化の取組が両輪となり、将来的に更なる運賃値下げに向けた好循環につながるよう、また市にとっての重要な交通機関である北総鉄道が安全・安心でより利用しやすい鉄道となるよう協力してまいりたい。

最後に、貴社のますますのご発展を祈念し、私からの発言とする。

#### **印西市・本多課長（市長メッセージ代読）**

本日は印西市長からメッセージを預かっているので代読する。

（以下、メッセージ）

第52期決算におかれては、一昨年10月から実施された、運賃値下げ後の影響が明らかになる中、24期連続の黒字を達成され、また有利子負債についても着実に減少されたとの報告は、私ども沿線住民にとっても大変喜ばしいニュースとなった。

これもひとえに、貴社経営陣の皆様と、社員の皆様の日頃のご努力の賜物と深く敬意を表するものである。皆様のご尽力により、印西市では、北総線沿線を中心とする住宅開発や、企業の立地が続いているところである。こうした、北総鉄道と沿線におけるまちづくりの好循環をさらに推し進めるためには、北総線の更なる運賃値下げと、利便性の向上が欠かせないと考えている。とりわけ普通運賃の値下げと、印西牧の原駅から都心方面への速達性の確保については、市民からの切実な要望が私どもにも届いているところであるため、近い将来の実現に向けて、検討いただくよう心よりお願い申し上げます。

印西市としても、引き続き定住人口の増加や、企業の誘致に取り組むほか、北総線沿線活性化トレインをはじめとする、北総線沿線地域活性化協議会における活動や、「ほくそう春まつり」、「イルミライ INZAI」のイベント実施などを通じて、北総鉄道や沿線自治体と手を取り合い、北総線沿線の活性化や、利用促進に向け取り組んでいく決意である。

52年目の新たなスタートをきられた貴社が、次の50年、100年に向け、益々発展することを心より祈念申し上げます。

## 鎌ヶ谷市・浜田室長（市長メッセージ代読）

本日は鎌ヶ谷市長からメッセージを預かっているので代読する。

（以下、メッセージ）

社長様以下、社員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響や対応、ロシアのウクライナ侵攻に伴う、燃料や物価の高騰など不安定な社会情勢が続く中、安全・安心な鉄道輸送という社会的使命を果たしていただいていることに心から感謝申し上げます。

昨年度は貴社が沿線地域の将来を展望される中で、思い切った運賃の値下げを実施されて最初の1年だったと思うが、全体の利用者数の増加を達成されたと聞いている。特に通学定期の大幅な値下げによる、通学利用者の増加は著しいとのことで、こうした地域住民の声に寄り添った取組が、ダイヤ改正等と相まって大きな効果をあげていると思っている。

また一昨年から実施されている、北総沿線活性化トレイン事業についても、成田空港方面から、都心、羽田空港まで、幅広いエリアに地域の魅力を発信することができ、そのPR効果は非常に大きいものと考えている。今後の沿線地域の活性化やにぎわい創出、鉄道利用者の更なる増加につながる、永住促進にも大きく寄与するものと期待している。

本市の今後のまちづくりにおいても、貴社との連携が大変重要であると考えている。新鎌ヶ谷駅の南側に隣接する約 7000 m<sup>2</sup>開発地における工事もはじまり、新たなにぎわいの創出や、地域の発展につながるものと期待している。貴社におかれては引き続きまちづくりへのご協力をいただくようお願い申し上げます。

最後に、貴社のますますのご発展を祈念するとともに、今後も沿線の活性化などに向けて、沿線市、千葉県と共に一層連携を深め、協同のまちづくりが進むようお願いして、私からのメッセージとする。

## 北総鉄道・持永社長

昨年度は、運賃値下げが通年にわたって影響する年であったが、おかげさまで利用者の増加もあり、増益ということになった。これもひとえに印西市・白井市・鎌ヶ谷市をはじめ、沿線各市、京成電鉄、千葉県やUR など、本日の総会にも出席している株主の皆様による長年にわたるご支援の賜物であり、また、ご利用いただいた多くのお客様のおかげである。改めて感謝申し上げます。

振り返ってみると、運賃の問題についてこれまでやや対立の構図があったが、今3市からいただいたメッセージのとおり、活性化トレインをはじめ、沿線価値の向上につながる取組をしっかりと進めていこうというご発言をいただいた。今後とも各市長様からのメッセージをしっかりと受け止め、また自治体の皆様と連携しながら、沿線価値の向上、さらに利用しやすい鉄道、さらに住みやすい地域づくり、これらを目指してまいります。

引き続き皆様からのご支援を賜りますようお願いする。

## 5 議案採決

第1号議案 取締役7名選任の件

⇒ 異議なく承認可決

第2号議案 監査役3名選任の件

⇒ 異議なく承認可決

第3号議案 退任取締役及び退任監査役に退職慰労金贈呈の件

⇒ 異議なく承認可決

(以上)